

### 《新金泥 消粉色 試験結果》

項目		評価方法	結果	
耐蝕性 耐薬品性	耐酸性	①弊社評価用ビヒクルに金粉を25%混ぜ、 バーコーターを用いてアート紙に塗布し刷り見本作製		
		②酢酸の3%水溶液を作り、①で作製した刷り見本をこの3%酢酸水溶液に浸漬		
		a)3時間保持(18°C)	不変色	○
		b)6時間保持(18°C)	やや変色	△
		③取り出した後の刷り見本の色調を目視にて確認。		
	耐アンモニア性	①弊社評価用ビヒクルに金粉を25%混ぜ、 バーコーターを用いてアート紙に塗布し刷り見本作成		
		②「耐酸性」と同様にアンモニアの1%水溶液を作り、 ①で作製した刷り見本をこの1%アンモニア水溶液に浸漬		
		a)3時間保持(18°C)	不変色	○
		b)6時間保持(18°C)	やや変色	△
		③取り出した後の刷り見本の色調を目視にて確認。		
耐熱性	①粉末をオープン（大気中）に入れ、			
	a)200°C×90分、キープ	不変色	○	
	b)250°C×60分、キープ	不変色	○	
	c)280°C×60分、キープ	やや光沢劣化	△	
	②試験前後の粉末の色調を目視にて見比べる。			
耐硫化	塗り板に蒔絵加工を施し硫黄成分を10倍に薄めて燻す。 (温度、40°C・湿度90%) 240時間放置（社内テスト）	不変色	○	
	(温度、40°C・湿度90%) 720時間放置（社内テスト）		○	
耐候性 屋外暴露	①HRS金粉をアクリル樹脂を使用し塗料化後、自動車に全面塗装。			
	②オーバーコート（シリコン樹脂）塗装後、屋外に放置。			
	a)3か月間、 b)12か月間の色調を目視にて確認。	不変色 やや変色	○ △	
耐溶剤性	①金粉を以下の各有機溶剤に10~15°Cにて浸漬させ、 20日間放置後、目視にて確認。			
	<b>(炭化水素)</b>			
	キシレン	不変色	○	
	石油エーテル	不変色	○	
	シクロヘキサン	不変色	○	
	トルエン	不変色	○	
	<b>(ケトン)</b>			
	メチルエチルケトン	やや変色	△	
	ジアセトンアルコール	不変色	○	
	アセトン	不変色	○	
	<b>(エステル)</b>			
	酢酸ブチル	やや変色	△	
	酢酸エチル	不変色	○	
	<b>(アルコール)</b>			
	シクロヘキサノール	不変色	○	
	メチルアルコール	不変色	○	
エチルアルコール	不変色	○		
エチレングリコール	不変色	○		

\* 記載内容は当社の測定結果であり規格を示すものではありません。

\* ご使用の目的に合うかどうか、テストを行ってからご使用ください。

\* 塩素系または硫黄系のガスに長時間さらされると、変色する恐れがあります。

\* 耐変色性となっておりますが、万が一変色した場合でも弊社は一切の責任を負いかねます。

また保証・賠償の対象にもなりませんので、ご了承ください。